

福島第一廃炉作業の後方支援 ＜溶接型タンク編＞

- 当所は、福島第一廃炉作業の後方支援拠点の役割も担っており、その一環として、福島第一で使用するためにあらかじめ別の場所で製作した溶接型タンクの一部（全7基）を当所物揚場（港に面した敷地）まで専用の船で海上輸送し、一時的に保管・管理しています。
- タンクは、吊り上げ用の機具を含めると1基あたりの総重量は約75t（乗用車約50台分）にもなるため、陸揚げには大型のクレーンを使用します。
- この重量物を扱う作業は、専任の監視員が周囲の安全を確認しながら、作業員がお互いに声を掛け合い、慎重に進めました。
- タンクを当所物揚場で一時的に保管することで、福島第一の作業エリアを有効活用できるとともに、計画的なタンクの増設の一翼を担っています。



当所へ入港するタンク



専任の監視員による安全確認



当所物揚場へのタンクの陸揚げ